

〈将来都市像〉 みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩

5th TAMA CITY COMPREHENSIVE PLAN

第五次多摩市総合計画
第3期基本計画 2019-2028

2019（令和元）年6月

わかりやすい版

Smart Wellness City TAMA
～ 健幸まちづくりのさらなる推進～

Check!

こちらからも
閲覧できます



はじめに ~わかりやすい版ってなに？~

皆さんがいつまでもこのまちで楽しく、元気に過ごすことができるように、多摩市が将来目指すまちの姿とまちづくりの基本的な方向性をまとめた「第五次多摩市総合計画 第3期基本計画」を2019年6月につくりました。

この「わかりやすい版」は、子どもたちや障がいのある方にも、「第五次多摩市総合計画 第3期基本計画」の内容をなるべく簡単な表現でお伝えするためにつくったものです。

ぜひ、一度ご覧になっていただき、これからの多摩市のまちづくりについて、みんなで一緒に考えてみましょう。

もくじ 目次

1	第五次多摩市総合計画ってなに？	2
2	第五次多摩市総合計画 第3期基本計画について	2
3	現在の多摩市の状況はどうなっているの？	3
4	第3期基本計画はどんなことに力を入れて取り組むの？	4
5	多摩市が目指すまちの姿は？	5
	その1 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち	6
	その2 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち	7
	その3 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	9
	その4 働き、学び、遊び みんなが活気と魅力を感じるまち	10
	その5 いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち	11
	その6 人、自然、地球 みんなで環境を大切にすまち	12
6	このほかの取組も紹介します	13
7	この計画は市民の皆さんと一緒につくりました	14

1

だいがじたましそごうけいかく 第五次多摩市総合計画ってなに？

- ▶ 多摩市が自指すまちの姿とまちづくりの基本的な方向性が書いてある、とても大切な計画です。
- ▶ 総合計画に基づいて、様々な分野で市民の皆さんの生活に関するたくさんの取組を行っています。
- ▶ 総合計画では、多摩市が自指すまちの姿を市民の皆さんで共有するために、「将来都市像」を決めています。

しょうらいとしぞう = みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩



だいがじたましそごうけいかく
第五次多摩市総合計画
によるまちづくり（2011年度から概ね20年間）

2

だいがじたましそごうけいかく だい ききほんけいかく 第五次多摩市総合計画 第3期基本計画について

- ▶ 第五次多摩市総合計画は、2011年度をスタートとする概ね20年間の計画なので、その間の社会や経済の動きなどに対応するため、4年ごとに計画の見直しを行っています。
- ▶ この第五次多摩市総合計画 第3期基本計画は、2019年度から2028年度までの計画です。

2011年度から
第1期基本計画

2015年度から
第2期基本計画

2019年度から
第3期基本計画

＜基本的な考え方＞
自助・共助・公助の
バランスのとれたまちづくり

＜基本的な考え方＞
3つの取り組みの方向性
に基づくまちづくり

＜基盤となる考え方＞
「健幸まちづくり」の
さらなる推進



「健幸まちづくり」については
4ページで紹介するよ。

3

現在の多摩市の状況はどうなっているの？

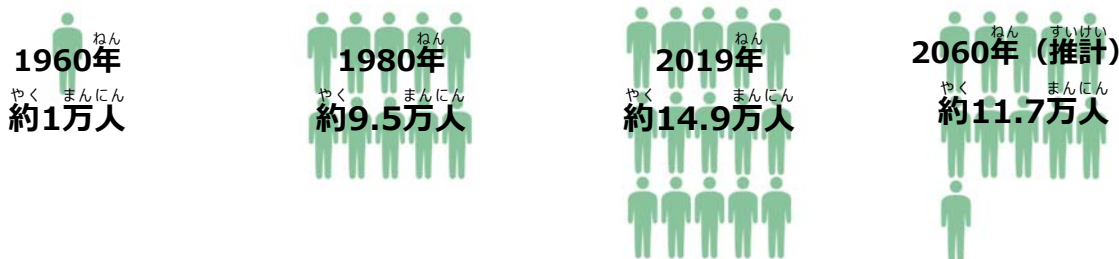
- ▶ 現在の多摩市は、子どもの人口割合が急激に減っている一方で、65歳以上の高齢者の割合が急激に増加しています。（少子化・高齢化）
- ▶ そのため、今は約15万人いる多摩市の人口も、これからは徐々に減っていくと予想されています。（人口減少）
- ▶ 少子化・高齢化や人口減少が進んでいくと、私たちの生活にも大きな影響が出てきます。

例えば…

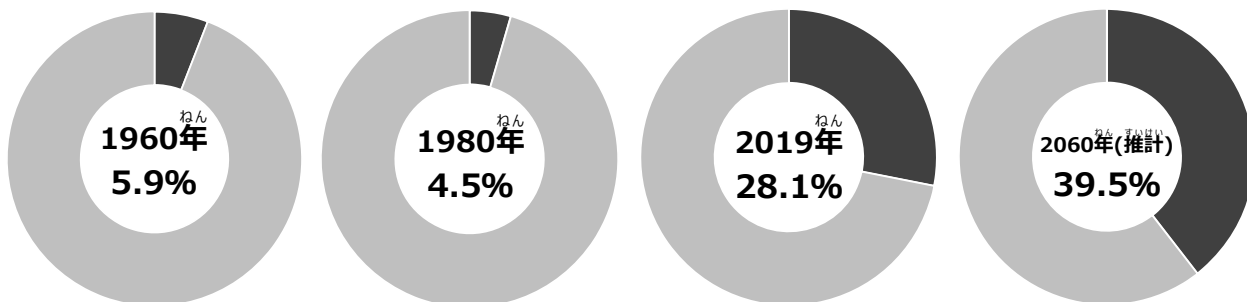
- ・働く人の数が減ることで、市に入ってくるお金（税収）が減り、古くなった学校や公民館の改修ができなくなる。
- ・高齢者が増えることで、介護などのサービスを利用する人が増えて、市の持っているお金が少なくなる。
- ・空き家が増えることで、古くなった建物が倒壊するリスクが高くなる。

多摩市の人口と高齢化率（65歳以上の人口の割合）

▶ 多摩市の人口は？



▶ 多摩市の高齢化率は？



※出典 1960年、1980年のデータ：国勢調査（各年10月1日時点）
 2019年のデータ：住民基本台帳（1月1日時点）
 2060年のデータ：多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 人口ビジョン（将来展望人口）

2060年には、およそ 5人に2人が 65歳以上の高齢者になると予想されているよ。少子化・高齢化や人口減少が進むと、まちにどのような影響が出てくるのか、自分たちでも考えてみよう。



4

第3期基本計画はどんなことに力を入れて取り組むの？

- ▶ 多摩市は、「健幸都市（スマートウェルネスシティ）」の実現を自指しています。第3期基本計画では、「健幸まちづくり」をさらに推進していくことを計画の「基盤となる考え方」としています。

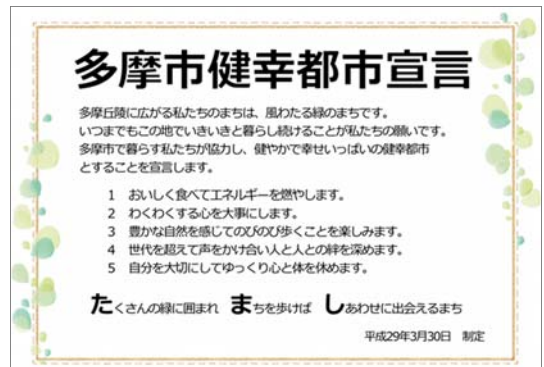
多摩市が目指す**健幸都市（スマートウェルネスシティ）**とは、
 身体面の健康だけでなく、それぞれに生きがいを感じ、安全・安心に
 暮らすことができ、子育て中であっても、障害があっても、子どもから
 高齢者まで、だれもが幸せを実感できるまちのことです。



- ▶ 多摩市では、これまでも「健幸まちづくり」の取組をたくさん行ってきました。ここでは、その一例を紹介します。

「多摩市健幸都市宣言」を制定

健幸まちづくりとして目指すべき姿（ゴール）を、多摩市に関わる人たち全員（市民、議会、行政、事業者など）で共有するために制定しました。



「ライフウェルネス検定」を実施

老いや病と折り合いをつけながら、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと暮らし続けられるポイントをまとめた、多摩市オリジナルのテキストを作成・販売し、テキストに掲載している情報の中から出題する多摩市独自の検定「ライフウェルネス検定」を開催しました。



- ▶ 第3期基本計画では、社会の変化などを踏まえ、計画の「基盤となる考え方」である「健幸まちづくり」をさらに推進していくために、**3つの重点課題**に特に力を入れて取り組んでいきます。

重点課題1 超高齢社会への挑戦

重点課題2 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり

重点課題3 市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり

5

多摩市が目指すまちの姿は？

▶ 多摩市では、6つの目指すまちの姿の実現のために、各分野で様々な取組を行っています。

＜目指すまちの姿 1＞

子育て・子育てをみんなで支え、
子どもたちの明るい声がひびくまち

子育て・子育て

教育

＜目指すまちの姿 2＞

みんなが明るく、安心して、
いきいきと暮らしているまち

健康・医療

地域福祉

高齢者福祉

障がい者福祉

＜目指すまちの姿 3＞

みんなで楽しみながら
地域づくりを進めるまち

市民活動・コミュニティ

文化・スポーツ・交流

平和・共生

＜目指すまちの姿 4＞

働き、学び、遊び
みんなが活気と魅力を感じるまち

産業振興・雇用・観光

＜目指すまちの姿 5＞

いつまでもみんなが住み続けられる
安全で快適なまち

防災・防犯

都市づくり

＜目指すまちの姿 6＞

人・自然・地球
みんなで環境を大切にするまち

環境

5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その **1** **子育て・子育てをみんなで支え、
子どもたちの明るい声がひびくまち**

政策 A1 **子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり【子育て・子育て】**



1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 子どもと親子の居場所づくりに取り組みます。
- ▶ 待機児童対策に取り組めます。
- ▶ 地域における見守り活動を充実します。
- ▶ ひきこもりの自立支援に取り組めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 地域で友達や仲間づくりをします。
- ▶ 地域活動に参加し、地域で子育てしやすいネットワークをつくります。

3. 主な目標

	いま 今 (2017年度)	目標 目標 (2022年度)
▶ 学童クラブの 待機児童数	80人	0人

政策 A2 **人と学びを未来につなぐまちづくり【教育】**

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 英語教育を充実します。
- ▶ いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期対応に取り組めます。
- ▶ 健康教育を充実します。
- ▶ 学校と地域の連携に取り組めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 自ら主体的に学び、考え、行動します。
- ▶ 社会のルールやマナーについて、家庭で話し合います。
- ▶ 自ら基本的な生活習慣を身につけます。

3. 主な目標

	いま 今 (2017年度)	目標 目標 (2022年度)
▶ 「いじめはいけなし」と 回答した割合(小6)	80.0%	100%



5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その 2 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

政策 B1 生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまちづくり【健康・医療】



1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 健康づくりの活動を充実します。
- ▶ 受動喫煙を防止する取組を行います。
- ▶ 救急医療体制を充実します。
- ▶ 定期予防接種の機会を確保します。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ バランスのとれた食生活を心がけます。
- ▶ 定められた時期に予防接種を受けます。

3. 主な目標

	いま 今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 健康のために実践していることがある市民の割合	62.1%	▲ 64.0%



政策 B2 だれもが安心して暮らせる支え合うまちづくり【地域福祉】

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 地域福祉活動への支援と参加の促進を行います。
- ▶ 民生委員・児童委員活動を充実します。
- ▶ 貧困の連鎖を防ぐための支援を強化します。
- ▶ 犯罪被害者等の支援を強化します。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 身近な人や近所の人々が悩んでいたりと、困っていたときには積極的に声掛けを行います。
- ▶ 犯罪被害者等の現状や支援の必要性などについての理解を深めます。

3. 主な目標

	いま 今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 地域福祉の推進についての「満足」「やや満足」している市民の割合	18.5%	▲ 22.2%



高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり【高齢者福祉】



1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 認知症への対策を行います。
- ▶ 高齢者が暮らしやすい地域をつくります。
- ▶ 介護が必要な状態になることを早期に予防する取組を行います。
- ▶ 高齢者の社会参加・交流の促進に取り組めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 様々な活動に積極的に参加し、世代間の交流を図ります。
- ▶ 認知症高齢者を日ごろから見守り、地域で暮らしていけるよう支援します。

3. 主な目標

	今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 認知症サポーター養成講座受講者数	11,870人	13,000人

障がい者が安心して暮らせるまちづくり【障がい者福祉】

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 相談支援体制を充実します。
- ▶ 障がい者の就労への支援を行います。
- ▶ 障害への理解促進に取り組めます。
- ▶ 日常での見守り・支援体制づくりを進めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 障害に対する正しい理解に努めます。
- ▶ 障がい者を互いに支え合うしくみの構築や法令順守に向けた取組への主体的な参加に努めます。

3. 主な目標

	今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 障がいのある方がこれからも「多摩市に住み続ける」と回答している割合	68.5%	72.9%



5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その 3 みんなで楽しみながら 地域づくりを進めるまち

政策 C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり【市民活動・コミュニティ】

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 地域の支え合い活動を支援します。
- ▶ 地域の課題を地域で共有し、解決するしくみづくりを行います。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 地域の講座などで習得した知識・技能を地域の中で活かします。
- ▶ まちづくりに対する関心を持ち、できることから活動をはじめます。



3. 主な目標

	いま (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 自治会・町会・管理組合の加入世帯数	39,215世帯	39,400世帯

政策 C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり【文化・スポーツ・交流】

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ スポーツ活動を通じた健康増進と生きがいづくりの取組を進めます。
- ▶ 地域内の交流、世代間の交流を推進します。
- ▶ 市民が様々な形で文化・芸術に触れる環境を整えます。



2. わたしたちができること（例）

- ▶ 文化・スポーツ活動を楽しみます。
- ▶ 世代や国籍などを問わず互いを理解し、様々な交流をします。

3. 主な目標

	いま (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 週1回以上スポーツをした人の割合	53.0%	66.0%

政策 C3 だれもが平等で互いに尊重し合うまちづくり【平和・共生】

1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 平和意識の普及・啓発を行います。
- ▶ 男女平等・男女共同参画に向けた啓発事業の展開と支援を行います。



2. わたしたちができること（例）

- ▶ 平和に対する認識を深めます。
- ▶ 人権を尊重することの重要性を正しく認識します。

3. 主な目標

	いま (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 地域や学校等と連携して実施した平和事業の回数	5回	8回

5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その **4** はたらき、まな、あそ 働き、学び、遊び
みんなが活気と魅力を感じるまち

政策 D1 ひとびと つど はたらき かつき みりよく さんぎょうしんこう こよう かんこう
人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり【産業振興・雇用・観光】



1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ 中小企業等への支援に取り組めます。
- ▶ キャラクターなどを活用し、まちの魅力を発信します。
- ▶ 都市農業の担い手の育成を支援します。
- ▶ 駅周辺地区の活性化に取り組めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 市内の店舗で買い物するなどにより、地域経済の活性化に寄与するよう努めます。
- ▶ 「おもてなし」の心を持って市外からの来街者を迎えます。

3. 主な目標

	いま (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 市内観光客数	5,396,722人	5,644,000人

5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その 5 いつまでもみんなが住み続けられる 安全で快適なまち

政策 E1 **安全・安心のまちづくり【防災・防犯】**



- 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）
 - ▶ 住宅の耐震化を促進します。
 - ▶ 消防団の充実に取り組みます。
 - ▶ 自主的な防犯活動を支援し、防犯用品の貸与などを充実します。
 - ▶ 消費者相談・保護を推進します。
- わたしたちができること（例）
 - ▶ 食糧などの備蓄や防災訓練への参加などに努めます。
 - ▶ 地域での挨拶運動や見回り活動などに参加します。

3. 主な目標

	今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 自主防災組織の組織数	177組織	192組織

政策 E2 **安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり【都市づくり】**

- 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）
 - ▶ 多摩ニュータウンを今より元気にするための取組を行います。
 - ▶ 古くなった道路や橋などの施設の維持・更新を行います。
 - ▶ みんなが歩きやすい道づくりに取り組みます。
 - ▶ 交通のバリアフリー化を進めます。
 - ▶ 空き家の発生の予防と適切な管理を行います。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 交通安全教室などに参加します。
- ▶ 駐車、駐輪のルールを守ります。

3. 主な目標

	今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 街路灯のLED化率	89.0%	96.0%



5. 多摩市が目指すまちの姿は？

その **6** **人、自然、地球**
みんなで環境を大切にするまち

政策 F1 **地球と人にやさしい持続可能なまちづくり【環境】**



1. 2022年度まで、特に力を入れて取り組むこと（例）

- ▶ まちの環境美化の取組を行います。
- ▶ 環境への負荷を少なくするための取組を行います。
- ▶ ごみを減らし、資源化率を高める取組を行います。
- ▶ 環境にやさしい活動をする人を育てるため、学校や地域などでの環境教育・環境学習に取り組めます。

2. わたしたちができること（例）

- ▶ 地域での清掃活動など、まちの環境美化に取り組めます。
- ▶ マイバッグやマイ箸などを使用し、ごみの減量化を図ります。

3. 主な目標

	いま 今 (2017年度)	目標 (2022年度)
▶ 市民1人1日 あたりのごみ量	579.0 グラム	567.4 グラム

6

このほかの取組も紹介します

▶ 6つの目指すまちの姿で書かれた取組以外にも、多摩市をもっと良くしていくために、こんな取組も行っています。

例えば…

- 先進技術や民間サービスの導入により、市役所の業務の効率化と市民サービスの向上に取り組めます。
- すべての公共施設を効率的・効果的に運営するための計画策定などに取り組めます。
- 市民の皆さんへの情報共有や情報公開を行いながら、業務の改善などにつなげていきます。
- 簡単に手続きができるしくみや一ヶ所で相談を受けられる体制づくりなど、質の高い窓口・市民サービスの提供に取り組めます。
- 多摩市制50周年となる2021年に向けて、様々な記念事業を行います。
- 多摩市の良さを市内の人だけでなく、市外の人たちにも発信するため、広報活動の強化に取り組めます。

多摩市を良くするために、市役所のみんなが様々な取組を行っていますよ。



市役所職員 にゃんともTAMA三郎

この計画は市民の皆さんと一緒に作りました

▶ 第五次多摩市総合計画 第3期基本計画は、「市民とともに作る計画」をテーマのひとつにしているので、たくさんの市民の意見を聞きながら作られました。

市役所の動き

総合計画専門委員会

部長全員で、8回の会議を行いました

総合計画分科会

分野ごとに分かれて、計14回の会議を行いました



市民ワークショップ

計3回で82名に参加いただきました

中学生・高校生アンケート

964名から回答をいただきました

第3期基本計画

のスタート!

市民の皆さんの参画

総合計画審議会

公募の市民や学識経験者など、計15名の委員で10回の会議を行いました

全員協議会

市議会議員の皆さんに計画案への意見をいただきました

パブリックコメント

7名12件の意見をいただきました

市民説明会

17名に参加いただきました

※過去の市民参画も活用しました

- ・多摩市政世論調査
- ・若者のまちづくり基礎調査報告書
- ・地域活動に関する市民参画アンケート
- ・連光寺小学校6年生による「2030年の理想とする町」
- ・男女平等・男女共同参画に関する多摩市民意識及び実態調査報告書2015

いんさつぶつばんごう
印刷物番号

31-7

だいごしたましそうごうけいかく
第五次多摩市総合計画

だいききほんけいかくばん
第3期基本計画 わかりやすい版

れいわげんねんがつほごう
2019（令和元）年6月発行

ほつごうたまし
発行 多摩市

〒206-8666

とうきょうとたましせきどろくちようめばんち
東京都多摩市関戸六丁目12番地1

TEL042(375)8111（代表）

へんしゅう
編集 企画政策部企画課

はんぶかかくえん
頒布価格 100円

